平成29年度『学校経営シラバス』

北海道東川高等学校

めざす学校像	めざす生徒像
1 学ぶ意欲を高め、夢の実現を支援する学校 2 切磋琢磨し合い、互いを高め合う学校 3 努力を支え、進路希望を実現させる学校 4 健康で安全な学校生活を保証する学校	(校訓) 「美風慣行」 「自律創造」 1 情操豊かで創造力のある生徒 2 自己の可能性を最大限に発揮できる生徒 3 明朗・闊達・剛健で健康な生活を営む生徒 (学校教育目標より)

領域	対象	中期目標	今年度の目標	目標達成のための評価の観点
教育 活動	学習指導	1 学習意欲の喚起 2 基礎学力の向上 3 ALの研究促進と実践	1 生徒の実態に即した学習指導の推進 2 学習習慣の確立と主体的学習態度の育成による基礎基本の定着 3 主体的・対話的な授業の工夫と指導法の改善	1 (1)「本時の目標」の明示や「振り返り」により生徒に見通しを持った学習を促せたか。 (2)成績不振及び欠時超過を防止できたか。 (3)受験に必要な学力向上が果たせたか。 2 (1)家庭学習や放課後学習強化への有効な手立てがとれたか。 (2)各種コンテスト等への事前指導ができたか。 3 (1)ALに向けた授業の工夫がされたか。 (2)生徒の授業満足度は高いか。
	生徒指導	1 東川高生としての自覚及び自主自律の精神の育成 2 生徒間の適切な人間関係の構築	1 校訓の実践 2 保護者・地域・他校種との連携強化 3 教育相談の充実	1 (1)美しい礼儀・挨拶を身につけたか。 (2)生徒に自己成長のための個人目標を持たせ、その達成に向けた指導ができたか。 (3)生徒会の日常活動が活発だったか。 (4)生徒が活躍する場を多く設定できたか。 (5)アルバイト許可に係る検証ができたか。 2 (1)家庭への連絡を密に行ったか。 (2)生徒を地域行事等へ積極的に参加させたか。 (3)地域人材の教育力を導入できたか。 3 (1)生徒間トラブルを防止・解決できたか。 (2)学校生活への不安を解消できたか。
	進路指導	1 将来に夢と希望を持ち目標に邁進する生徒の育成 2 第一希望の進路実現	1 キャリア教育の充実 2 進路目標の明確化と生徒の適性・能力の伸長 3 進路相談の徹底と各生徒の変容	1 (1)正しい職業観や勤労観を育成できたか。 (2)外部教育力等を積極的に活用できたか。 2 (1)進路目標の早期設定と、系統的な受験・面接指導ができたか。 (2)進学講習体制が確立できたか。 (3)模試と講習の連動ができたか。 3 求められる社会人基礎力を各生徒が理解し、それを獲得させる指導ができたか。
	健康・安全指導	1 健康で安全な学校生活の保障 2 自他の生命を尊重する精神の育成	1 校内外の環境美化に係る自主活動の育成 2 生命尊重・健康増進・安全指導の徹底	1 委員会活動や生徒会活動と連動させ、生徒の主体的な美化活動を形成できたか。 2 (1)いじめのない学校生活を保障できたか。 (2)各種講話は生徒の意識高揚に寄与したか。

学 校 運 営	信頼される学校づくり	1 生徒・保護者・地域の負託に応える学校づくり 2 情報提供の拡大と説明責任	1 保護者・地域との信頼関係強化 2 学校評価、学校 HP・学校だより等の充実	1 (1)生徒・保護者の思いや地域ニーズを的確にとらえ、その対応が十分だったか。 (2)地域やPTAとの関わりに積極的だったか。 (3)志願者確保に向けた取組が推進できたか。 2 (1)HPの更新、記事提供に積極的に関わられたか。 (更新目標の設定、小さな記事の提供) (2)学校だよりにより保護者や地域の声を積極的に掲載できたか。
	組織運営	1 学校力の向上 2 各種情報の共有化	1 課題解決に向けた協働体制の確立 2 情報交換の推進による共通理解の形成 3 PDCAによる業務の推進	1 (1)学校経営シラバスの評価観点に立った取組が推進できたか。 (2)文科省研究開発学校に係る取組が進んだか。 2 「報告・連絡・相談」を密にして教員間の連携に努めたか。 3 前後期の反省や学校評価結果から具体的な改善方を練り、実行に移せたか。
	教職員の資質向上	1 授業力・生徒指導力の向上 2 自己洞察の深化	1 授業力の向上と危機管理意識の強化、研修体制の整備 2 自己課題意識の向上 3 服務規律の遵守	1 (1)授業及び生徒指導で生徒の信頼を得たか。 (2)自己の改善点をとらえ、資質向上に努めたか。 (3)各種リスクの回避や適切な対応ができたか。 2 (1)教育者としての品格を磨いたか。 (2)生徒に適切な言葉遣いを指導できているか。 (3)同僚の信頼を得ているか。 3 服務規律保持と不祥事防止が果たせたか。